



Topics

- ①特集 - フリー・ザ・チルドレンは WE に！
- ②クラウドファンディング報告
ご支援・ご協力ありがとうございました！

- ③国内事業報告
- ④事務局より P7
国際理解教育教材のご案内・会計報告



フリー・ザ・チルドレンは、WEに！

1995年にカナダで誕生したフリー・ザ・チルドレン (FTC) は昨年9月から WE に名前を変更し、新たなスタートをきりました。

カナダのクレイグ・キールバーガーという12歳の少年が立ち上げた FTC は、「貧困や搾取から子どもを解放する」ことを目的に、子ども自身が立ち上がり活動する国際協力団体としてスタートしました。

活動をするなかで、多くの人たちに「子どもになんか何もできない」「大人になってから問題に取り組めばいい」と言われましたが、子どもの問題なら同じ子どもが立ち上がることで、世界を変えられると信じ、子どもや若者に社会問題を伝え、彼ら自身がその問題に取り組みアクションを起こせるようサポートする活動に力を注ぎました。

フリー・ザ・チルドレンは活動を続けるうちに、子どもとして何らかの成果を成し遂げたとき、子どもたちは素晴らしい！と思われがちですが、実は、その子どもがその成果を達成できた背景には、多くの仲間やおとなが協力してくれていることを実感するようになりました。

人はひとりでは生きられない。「ひとりひとりがつながり、思いやることが大切だ。」
その考えを伝えていきたいと考えるようになりました。

世界をより良くするためには、政治家や専門家など特定の大人だけで解決できるものではない。子どもでも若者でも世界を変える力を持っている。もちろん、年配者でもどんな立場の人でも。

「人は年齢や立場に関わらず誰でも才能を持っている。その違いが大切であり、違いのある者同士だからこそ、お互いにつながり連携すれば、より大きな力となって世界を変えられる」と、確信するようになりました。

子どもでも、おとなでも、誰しものが大切にされ、違いや個性が尊重され、誰ひとり取り残されない社会を目指し、地域のどこかで起きている問題は私たちの問題だと気づき協力できるような世界をつくりたいと考えるようになり、このたび20年以上世界で親しまれた「フリー・ザ・チルドレン」という団体名から、「WE」へと生まれ変わりました。

名前は変わりましたが、今後も子どもや若者に対して社会問題を伝え、問題に取り組むためのスキルを子どもや若者に伝えるリーダーシップトレーニング事業に力を入れていきます。

これを受けて、2017年から、日本でもフリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、WE Free The Children というロゴで活動をしていきます。
日本でも新しくなる私たちを、今後どうぞよろしくお願いいたします。



フィリピン障害者支援事業 クラウドファンディング目標金額達成！ クラウドファンディングへのご支援・ご協力ありがとうございました！

2016年11月17日からスタートしたREADYFORでのクラウドファンディングが、昨日の2月15日23時をもって終了いたしました。

今までに挑戦したことのない過去最高目標額800万円という大きな金額を集めることは到底無理なのではないかと思いましたが、

たくさんの方々からのご協力で、目標金額を約24%上回る999万5千円のご寄付が集まりました。

おかげさまで、「障害者の可能性を閉ざさない フィリピンたった1つの国立盲学校の挑戦」プロジェクトを予定通りスタートすることができます。

たくさんの方々からの温かいご支援に心より感謝申し上げます。

今回、当プロジェクトのためにいただきますご寄付は、フィリピン国立盲学校に通う視覚障害者の子どもたちが安全で健康的に学校生活を送れるよう寮修繕とスクールバス購入のために、国立盲学校とともに有効に使わせていただきます。そして、一人でも多くの視覚障害者が高校を卒業できるよう環境を整えて参ります。

今回、ご寄付のご協力をいただいた方々のほか、SNSなどで当プロジェクトをシェアして下さるなど広報にご協力くださった方、応援メッセージをくださった方など多くの方のご協力がありました。

また、日本国内で12社、フィリピンにて把握しているだけでも7社のメディアの皆様にとりあげいただき、総理夫人をはじめ日本・フィリピン両政府の方々にご訪問下さったことなども大変ありがたく、光栄でした。

様々な立場の方が、ご協力くださり支援の輪が広がったことでプロジェクトが達成できたのだと感じております。

事業の進捗については、当団体のフィリピン障害者支援事業のページにて報告したり、ニュースレター等発行物でもご報告を行ってまいりますので、ぜひご覧くださいと幸いです。



— Message from

プロジェクトリーダー石田由香理



フィリピンにおける視覚障害者の教育支援に関わりたい…、私が大学1年の終わりにそのようなことを言い始めてから、もうすぐ7年になります。大学時代も開発学のレポートの度にフィリピンを事例に上げ、卒業論文も「フィリピンにおける視覚障害児教育—教育政策と現状のギャップ」というテーマで執筆し、5年前にコンクールに出した作文でも、将来はフィリピンの視覚障害児教育環境を改善する仕事に就きたいと、まるで今を知っているかのように書いていました。

フィリピンに届けられるような知識を得たくて行った大学院、奇跡的に就くことができた国際協力の職。

そして立ち上がったフィリピン障害者支援事業は、これほど沢山の方々に賛同していただき、総理夫人をはじめ日本・フィリピン両政府の方々にご覧いただいたりしました。言い続けていけばご支援の輪は広がるのだと実感しています。

みなさまからいただいたご支援を大切に、フィリピン国立盲学校の寮修繕とスクールバス購入を進めてまいります。改めまして、クラウドファンディングにご支援・協力いただいたみなさまへ心より感謝申し上げます。

今後ともフィリピン障害者支援事業の応援、どうぞよろしくお願いいたします。

フィリピンチーム&チョコレートプロジェクト



昨年末から販売を開始した、寄付付きチョコレート Ngiti(ニティ)。中高生メンバーが中心となり、パッキングや広報を行い、オンラインストアを中心にたくさんご購入いただいています。

また、2月には武田薬品工業株式会社 湘南研究所の食堂にて販売を行い、たくさんの社員の方々にチョコレートをご購入いただきました。

寄付付きチョコレート Ngiti(ニティ)は、1袋3粒入りで200円。そのうち66%(132円)がフィリピン盲学校支援事業への寄附となる商品です。

売り切れ次第販売終了となります。FTCJ Online Store よりご購入いただけますので、ぜひお試しください。



右記のQRコードよりアクセスできます。



PICK UP

出張講演報告

2017年1月8日、六本木のストライプハウスギャラリーで行われたイベント、111プロデュース公演「ストライプハウスほいくえん」で、ワークショップを行いました！

赤ちゃんから大人まで集まる、とても賑やかなイベント。常に笑顔で溢れていました。

参加者の皆さんに好きなことを書き出してもらい、そして、その自分の好きなことを使って、何が出来るかな？を考えました。わくわくできるアクションを起こすきっかけとなれば嬉しいです。

このイベントでは、主催者111様のご協力により、チケット売上から会場費等の必要経費を除いた頂きました。ご来場いただいた皆様、出演者の皆様、そして111の皆様、ありがとうございました！



TAKE ACTION CAMPのご案内

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンでは、毎年テイク・アクション・キャンプを実施しています。キャンプは、子ども若者を対象にした合宿型リーダーシップトレーニング・プログラムです。

参加者自身が「子どもには世界を変える力がない」という考えから解放され、社会問題解決に向けて、そして国際協力活動に取り組むためのやる気とスキルを習得できる内容となっております。

今年も日本とカナダで開催！詳細はチラシまたはWEBサイトを参照ください。

熱い想いをを持った仲間と、忘れられない思い出を作りませんか？一緒に学び・考えアクションを起こそう！

IN JAPAN

2017年
5月4日~5月6日
@ 東京



IN CANADA

2017年
7月27日~8月7日
@ トロント



会計報告

■会員、寄付のご報告■

いつも皆様のご寄付、ご支援に心から感謝いたします。

2017年2月末現在の会員数、キッズパワー募金登録者数、文通プログラム登録者数、および2016年11月～2月の寄付金状況、ご寄付いただいた皆さまのご報告をいたします。

正会員 32名
 子どもメンバー 537名(新規27名)
 ユースメンバー 996名(新規9名)
 キッズパワー募金 89名(新規6名)
 文通プログラム 31名(新規2名)

【寄付金状況】

2016年11月～2017年2月

■寄付金合計

14,310,308 円

2015年度 4月～12月(※9カ月分)

目標 8,761,650 円 実績 10,433,070 円

達成率 119%

2016年度 1月～12月末(※1月～12月に会期変更)

目標: 10,794,000 円 実績 20,465,976 円

達成率 189%

【ご寄付いただいた皆様】(敬称略・順不同)

■個人様

杉山英輝、井出真奈美、鳥海栄子、小林ともみ、出野宏一、斎藤昭博、鈴木喜久枝、藤原梨穂、白井花、大矢東吾、福田桂吾、具島周平、三輪和弘、田中郁也、高崎賽、大河原一郎、堀内光子、土橋傑、小川直美、谷口佳世、倉下由香、鈴木悠仁子、松下愛子、温井史朗、伊藤菜々美、浅田紀子、本田岳秋、中島慎治、藤井裕子、高村和雄、竹内美紗子、相馬汐里、二木緑葉、伊是名夏子、五十嵐香織、早川裕也、林一成、福本ますみ、永藤由加里、文野清正、木村陽子、藤原淳、杉田真由佳、鈴木茂房、小吹岳志、杉山進、渡辺美紀、米良はるか、鈴木信子、清田真弓、丹藤京祐、今居勇氣、黒澤公人、井上富子、安倍昭恵、長澤滋、小林千恵子、古井郁恵、福山博、福田正人、小林智子、畠山珠美、伊藤浩之、野口潤、岸博実、外園小夜子、伊藤丈人、西田友和、犬伏邦明、金丸健士、中島武之、森本あんり、福田暁子、十川淳、八十八川勝、矢間秀行、矢間万紀子、木部紫、小川あかね、横森美奈子、森川庸、ト部敏直、林景一、毛利公子、石原尚樹、榊朗裕、矢代妙子、中川淳一郎、中野彰夫、迫田はつみ、柏倉秀克、石川和秀、坂元晴香、Christianson Mark、永井秀史、砂川佳慧、子安麻理、須藤俊和、江上英樹、太田かおり、高松義成、中野真治、山田涉、山本喜美江、飛田由紀子、菊池厚子、廣瀬久美子、元田進一、岩田真理子、岸信一、宮田敬子、久保千晶、村山由里子、川田保子、大西純、端野順子、松沢唯、西尾隆、小山西季子、吉田愛、中瀬倫太郎、SAWAYAMA TAKASHI、宮本年起、久保謙哉、宮嶋恵子、中込まどか、岡田泰史、井出万由里、野津美由紀、松川真吾、田島夏樹、立田成美、永井達哉、山辺温子、一條己、増田智子、田才諒哉、菅田利佳、梅村風歌、樋口ゆり子、脇水哲郎、小笠原勝二、堀井大輔、長内郁子、森弘人、栗山まどか、杉田瑞枝、吉住早百合、鶴原信明、海老沢真、三ツ井三奈子、西木恵子、鹿野仁一郎、五十嵐志保、明城和子、金原明子、菊池惟菜、長田和弘、安野徹、齋藤悠太、花山佳代、大屋正子、北田祐果、権平美砂子、桂田恵子、kurushima eiko、駒崎早李、坂井哲也、長久保有紀、神尾怜子、町田紀久江、河本伊久雄、三宅通、宮内孝典、荒谷誠宏、奥野治彦、小嶋章史、宮崎進、北原一平、塩田紀子、西本恵理、益子なるみ、河野亮二、坂本彰範、三輪和弘、瀧澤亜紀、堂前みどり、田中友理、橋本貴子、吉良綾乃、西嶋宏明、高橋正幸、山元祐代、手島勝、阿部敏幸、櫻井美咲、箭田裕子、百世安里、佐々木けい子、上野隆蔵、柴山賢、品川博之、齋藤久明、西村浩生、藤原淳、戸田敦子、網川章、森本岩雄、岡田千恵子、中山天野人、福井雄一、掛札宏、岡野良恵、柏木実保子、平井正子、足立幸代、小原華子、飯塚澄子、出口雅子、細永貴子、川戸陽子、谷明子、金澤俊典、滝沢秀安、羽賀正明、柏忠晃、影山昇、糸秀明、Kurz Leonard、山本和、山口三恵子、上野晴一、松田幸子、大平智美、北口豊、竹中研二、河合純一、梅村光、ドバシアツシ、他匿名数名

■団体様

桃山学院高校 School By School(SBS)、聖ヶ丘太極拳同好会、聖明園後援会、川崎市立宮内中学校、東京都立世田谷総合高等学校、横浜雙葉高等学校、株式会社グッドサポート、Club Natural、株式会社ZEN、かみひとねっとわーく京都、水上金属株式会社、日本パペスト厚木教会、111ワンワンワン、横浜市立平楽中学校、鳥取県立鳥取東高校英語部、株式会社ワイズ・インフィニティ、医療法人 貴和の会、メットアシュランス、群馬つつじ会

【キッズパワーサポーターご登録者様】(2016年11月～2017年2月末日現在、ご寄付・決済いただきました方々です。)

西野邦昭、西野由佳、大須賀康弘、中田悠志、おおふねりな、平田由里江、古池貴子、柳平涼子、黒木武将、薄井夏歩、河崎光佑、佐々木茜、坂下左知子、菱木信介、松浦宏則、伊藤菜々美、成田英理子、丸山勢衣子、長谷部利夫、松井鈴果、長束裕子、秋山千恵子、小林浩、三枝享祐、石川祥子、温井志朗、小池純充、藤谷正一、瀬戸口由子、荻原麻里子、杉本由美、多田聡、中山祐之、浅田忠久、山川優紀、ホンダナオアキ、中林理、笠井良子、野村淳子、川島三千代、小谷野嘉幸、後藤健人、荒川雄一、大山美穂子、平岡尚子、木村三郎、町井利子、小袋俊一郎、前田ひろみ、谷明子、原田幸子、原田美穂、宮下敏也、菅原哲也、松本信子、土橋傑、青木英俊、座間博、杉田真由佳、成田絵美、(合)ケーエスエムインターナショナル、他匿名数名

※クレジットカードは決済システムの都合上、入金を確認するのに2か月ほど時間を要するため、名前が反映されていない場合があります。その場合は次号のニュースレターで名前を掲載させていただきます。

ご協力ありがとうございました。

ご寄付のお振込みはこちら

銀行振込 三菱東京UFJ銀行 上野支店 普通 5360502 トクヒ)フリーザチルドレン

郵便振替 00120 - 5 - 161532 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

※お振込みいただきましたら寄付の使途の指定を通信欄に明記ください。※寄付のご指定がない場合は活動全体へのご寄付として受けさせていただきます。
 ※領収書希望の方は「領収書希望」と明記の上、お名前、ご住所、電話番号をご記入ください。

キッズパワーサポーター

継続的なご支援でフリー・ザ・チルドレン・ジャパンの活動を応援して下さる方々です。月500円からの任意の寄付額を設定していただき、クレジットカードまたは銀行自動引落による毎月(または毎年)定額寄付ができます。詳細はウェブサイト参照ください。

プロジェクト寄付

事業別のプロジェクト寄付、地域をご指定いただく寄付も随時受け付けております。
 お振込みの際に指定先を明記いただくか、お振込後、事務局(info@ftcj.com)までご連絡ください。

「世界は変えられる」子どもがそう信じられる社会に WE Free The Children

フリー・ザ・チルドレン・ジャパン / Free The Children Japan



WE マガジン 2017年3月発行 ●発行元 認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 6-6-5 安藤ビル 3F

TEL 03-6321-8948

FAX 03-6323-6504

MAIL info@ftcj.com

WEB http://www.ftcj.com



freethechildrenjapan